

大友又治 議員



外山正利 議員



# 交流人口拡大で活力ある町づくりを

## 町長——事業推進を図るため「観光交流推進プラン」をまとめたい

**議員** 交流人口創出基本計画等作成の考えは。

**町長** 多様性や意外性のPR、農業と観光との連携、町外資源との連携などが重要となる。各団体の事業の総括を踏まえ、関係者の意思疎通を十分に図り、課題解決に向けた具体的な展開を検討し、事業推進を図るため目標と重点施策を整理し「観光交流推進プラン」としてまとめたい。



なめこ丼

**議員** 観光のため林道整備体制確立の考えは。

**町長** 「女甌山の大カツラ」滝の沢の一本杉へのアクセス林道は、双方の巨木ともに国有林内に位置し、「女甌山の大カツラ」は町道前森山線を経由して前森山林道、

**議員** 歴史文化遺産等の整備・利用の考えは。

**町長** 鮭延城跡は、今年度に大手門口より本丸に至る散策路を案内標柱とともに整備するとともに

「滝の沢の一本杉」は滝の沢林道を利用してのアケスとなっている。

林道の維持管理は、一義的に管理者である森林管理署にお願いしていきたい。

林道八敷代小又線は、現在落石危険箇所の前後を通行止めとし、通り抜け不能となっている。

落石対策は相当の費用を要すると見込まれることから、国有林治山事業として対応してもらおうべく、森林管理署に要望している。側溝土砂上げや路肩の草刈りは順次計画的に実施していく。

**議員** ゆるキャラによる町おこしの考えは。

**町長** 平成20年に「ゆるキャラグランプリ」が開催されるなど、全国的にも地域PRに活用される事例が多くなっている。平成11年にイメージキャラクターとして定め、町のPRやイメージアップ

鮭延城跡周辺マップを作成し資料を整えている。如来像や土偶は、所有者との調整をしながら特別展を実施している。

中川木鈴氏は10月7日から21日、真室二郎氏は11月10日から25日に、それぞれの特別展を実施するなど広く紹介の機会をつくってきた。

誇るべき歴史的文化遺産や人的遺産を、魅力的な商品とすべく関係機関とともに研究を進める。

**議員** 町・生産者・関係団体によるネットワークをつくり総合的な戦略を構築するため、真室川町6次産業推進協議会を

整理検討すべきものと考ええる。



ふるさとCM大賞 優秀賞

# 一步前に進めるため、6次産業化実施要領を策定してはどうか

## 町長——関係団体と意見交換の場を設定し具体的事業の可能性を追求することから始めて行く

**議員** 第5次総合計画に沿った農業の振興及び6次産業化の現状の取組状況について伺う。

**町長** 農業の6次産業化の推進については、農業者が主体となつて行う農産物加工や直接販売、食品加工事業や流通事業と連携した加工品開発、直売所や農家レストランなどの取組を想定している。

加工販売のノウハウや技術、人材の不足や作物生産より高い事業リスク等の課題を抱え、近年の経済状況下いずれも販売に苦慮している状況にあると認識している。

町としては課題解決に向けて、平成20年度から開発経費の一部を助成する特産品開発支援事業を実施し、これまで合計10件の事業について支援をしてきた。

今年度から6次化推進事業として、希望が多い「漬物加工」をテーマとして技術習得講座を実施している。

次のステージに進める



森の停車場

ため、関係者の販売・商品開発についての一層の専門知識の向上や人材育成と観光交流による誘客と連携させた販売支援など、総合的な戦略を構築する必要があります。

**議員** 当町の農林業の現状は厳しい状況下にあると考えるが、新しい農業の在り方6次産業化を推進するには厳しい現状から抜け出す勇氣発想の転換が必要である。一步前に進めるため、真室川町

6次産業化実施要領を策定してはどうか。

**町長** 真室川ブランド推進プランを平成20年度に策定し、ブランドに係る実施計画として位置付けて進めている所である。

しかし、6次産業化の推進という場合には、産品のブランド化は一つの手法として位置付け、観光交流といった幅広い取組が必要と考えられることから、「真室川ブランド推進プラン」とは別に

こうした状況を踏まえながら、まずは生産者・加工業者・農協・漁協・観光物産協会等の関係者の意見交換の場を設定し、現状と展開方向についての整理を行い、具体的事業の可能性を追求することから始めてまいりたいと考えており、その過程の中で農業者・事業者が主体的となつた実施要領・行動計画が作成され、推進母体としての協議会についても組織化されるのが望ましいものと考えている。

ここが聞きたい！